

国勢調査人口の割合で各組織団体に帰属させることを協議しました。

第5次明和町総合計画 基本構想の策定

平成17年度を初年度とする10か年計画で26年度を計画の目標年度とする第5次明和町総合計画を策定しました。21世紀初頭の町の将来像を「水と緑豊かな活力ある明和町」と定めました。

明和町税条例の一部改正

地方税の改正に伴う規定の整備で、町民税では、生計同一の妻に対する均等割非課税措置および老年者控除が廃止されます。

明和町オフトーク通信施設の設置及び管理に関する条例を廃止する条例

町の行政情報や緊急情報などの伝達手段として平成6年1月からオフトーク通信を運営してきましたが、情報通信技術の進化に伴い先の行政情報検討委員会での答申を踏まえ、屋内放送を平成17年3月31日付けで廃止するため関係条例を廃止することになりました。

明和町屋外放送施設の設置及び管理に関する条例の制定

オフトーク通信の屋内放送を平成17年3月31日をもって廃止する



にあたり、オフトーク通信施設の設置及び管理に関する条例の字句の訂正を主な内容とし、新たに屋外放送施設として施設の設置及び管理に関し、必要な事項を定めるため制定しました。

明和町安全で安心なまちづくりの推進に関する条例の制定

近年、国際化、都市化および高齢化の進展等社会情勢の変化を背景として犯罪の発生件数が増加し、将来を担う子どもたちを取り巻く環境に重大な影響を及ぼし兼ねない状況にあります。このため、町民および事業者と力を合わせて安全で安心して生活できる地域社会を築くため条例を制定しました。なお、施行は平成17年4月1日です。



将来を担う子どもたち

平成16年度 一般会計補正予算

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ549万9千円を減額し、総額を51億7,287万5千円にしました。これは、人事異動等による職員給与費の増減などに伴う補正です。()は補正後の総額

歳入

国庫支出金 4万4千円
(1億3,818万円)
県支出金 2万2千円
(1億2,618万7千円)
繰入金 561万円減
(11億906万6千円)
諸収入 4万5千円
(1億895万3千円)
歳出
議会費 5万8千円

(7,790万6千円)
総務費 977万5千円

(19億9,671万5千円)

民生費 480万5千円減

(7億1,776万6千円)

衛生費 140万1千円減

(3億6,931万1千円)

農林水産業費 13万7千円

(1億3,221万2千円)

商工費 2万2千円

(3,174万2千円)

土木費 510万4千円減

(4億6,426万3千円)

教育費 418万1千円減

(7億435万5千円)

老人保健特別会計 補正予算

既定の予算総額に歳入歳出それぞれ1,611万8千円を追加し、総額を8億892万6千円にしました。これは、医療給付費の追加などに伴う補正です。()は補正後の総額

歳入

支払基金交付金 811万7千円

(4億9,323万8千円)

国庫支出金 533万4千円

(2億486万4千円)

県支出金 133万4千円

(5,121万6千円)

繰入金 133万3千円

(5,413万3千円)

歳出

医療諸費 1,611万8千円

(7億9,658万5千円)